

小牧市でフレイルチェックによる健康づくり事業を開始

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は今年1月に小牧市（愛知県）と締結した「健康づくり等の推進に係る包括連携協力に関する協定」に基づき、同市からの事業委託を受け、10月より、当社のフレイルチェックシステムを使った各種測定を開始します。2022年3月末までの間、同市東部地区で暮らす65歳以上の市民約300名に対して実施し、市民自らによる健康状態の把握など「気づきの支援」を進めるとともに、フレイルチェックの普及啓発につなげます。



キミと一緒に、育っていききたい。
Komaki

**住友理工**

厚生労働省は2020年4月、75歳以上を対象に、フレイルかどうかを判断する「フレイル健診」（15項目の質問票）を開始。当社は糸島市（福岡県）・国立大学法人九州大学と締結した3者間協定の枠組みの中で、身体的フレイルに特化したフレイル対策に取り組んできました。

この中で開発したフレイルチェックシステムは、握力や歩行速度、疲労度などを判定するとともに、自分が今どのような状態にあるかをわかりやすく把握できるように設計されています。その結果をもとに適切な介入・支援を行い、健康状態を改善して健康寿命を伸ばすことを目指します。

10月の開始に先駆け、小牧市内で8月上旬、篠岡地区の民生委員・児童委員の皆さま向けにフレイルチェック体験会を実施。委員の皆さまは、市民の生活上のさまざまな相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへのつなぎ役であるとともに、高齢者や障がい者世帯の見守りなど重要な役割を果たされています。その中から今回は約20名の方々が代表して、実際の測定を体験しました。



フレイルチェックシステムの説明（左）／
測定会に参加した民生委員・児童委員の皆さま（中央）

当社のSRセンサ技術を活用したクロステスト

今後は 65 歳以上の同市東部の住民の皆さま向けに開催予定で、順次、市内全域へと対象を広げていく予定です。また、本事業を通じて、自治体・大学・企業・市民団体や地域住民との連携による協働のまちづくりに積極的に参画し、当社の技術や製品、サービスを生かした健康で持続可能なまちづくりを目指してまいります。

<フレイルチェックシステム>

フレイル評価の内容 フレイル判定項目 + 3mTUG・クロステスト+フィードバック= **約40分**

フレイルチェックシステム

フレイル評価の内容を**専用アプリ**に入力
個人ごとのデータを保存、定期的に測定を繰り返すことで
フレイルの状態を**経過観察**できるシステムです

結果のフィードバックが容易
(結果シート出力、定期的測定結果の比較)

簡単にフレイル判定が可能
(九大式フレイル判定基準使用)

評価アプリ 測定データの集積が可能

サブデータベース

<本事業に関するお問い合わせ>

住友理工株式会社 経営企画部 CSR 推進室

(〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋)

TEL : 052-571-0272

Email : csr_inquiry@jp.sumitomoriko.com

受付時間 : 9:00~17:00 (土・日・祝日・GW・夏期休暇・年末年始を除く)

以上

ⁱ 「フレイル」とは、加齢とともに身体機能や認知機能が低下して虚弱となった状態のことを指す。ひとたび要介護状態に陥ると改善が極めて難しくなることから、フレイル予防の考え方では、フレイルの段階で早期に発見・把握することにより、適切な介入・支援で健康状態を改善し、健康寿命を延ばすことを目指す。

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車(モビリティ)分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の製造音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>